

5-12

トイレでの排泄を継続する為に

～要介護5からの自立支援～

補助器具

個別ケア

特別養護老人ホーム ^{かつしか}葛飾やすらぎの郷 ^{さと}

介護福祉士 室住直哉・室橋麻貴

間根山幸子・土屋吉正

東京都葛飾区新宿 3-4-10

TEL：03-5648-8250

E-mail

FAX：03-5648-8251

URL <http://www.sukoyaka-fu.or.jp/index.html>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

社会福祉法人すこやか福祉会が母体である葛飾やすらぎの郷は、平成13年4月に80床の特養、16床の短期入所デイサービスが併設された福祉施設です。

＜取り組んだ課題＞

- ・ 開設当初より天井走行、床走行リフト・スライディングボードなどの補助器具を積極的に活用してきた。中でもトイレへ移乗しトイレでの排泄を目指して取り組んできたが、7年目に入り入居者の入れ替わり、ADLの低下、職員の交代等の中で再度トイレでの排泄の取り組みについて検討してみた。

＜具体的な取り組み＞

- ・ 補助器具を使用してトイレへ移乗する
- ・ カンファレンスを行い補助器具の取り入れの検討
→補助器具を使用しトイレへの誘導
- ・ 詳細な手順書
→安全安楽にトイレ介助を行う為の個々の手順書作り
- ・ 統一されたケアの実践
→研修・学習会を実施
- ・ 今まで補助器具を使用してトイレに座って排泄していた入居者の事例を考察し、次のケアに活かす

＜活動の成果と評価＞

＜利用者の変化＞

- ・ オムツ内での排泄が少なくなった
- ・ オムツかぶれが減り皮膚トラブルが改善した
- ・ トイレに座ることで一回ですっきり出し切るようになった

＜職員への影響＞

- ・ 毎回のオムツ交換が楽になった
- ・ 腰痛予防

＜今後の課題＞

- ・ 補助器具は万人に使用できる訳ではない。個々の入居者にあった補助器具を使用する為には職員のアセスメント能力の向上が必要である。

＜参考資料など＞

無し